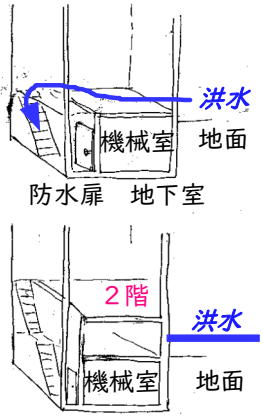


ビルの機械室への浸水をどう防ぐか・・・

多くの高層ビルでは受電設備や水道、空調機械等を地下室に置いている。その為、洪水となると浸水。台風19号では武蔵小杉近くのタワーマンシヨンの地下の電気設備が壊れ、停電が長く続いた。



そこで地下室への通路を「二階から」にすれば良い。一階が浸水しても水は入らない。機械を出し入れするメンテナンス用の入

口は、ボルトナットで締めておけば心配ない。今、地下街がどんどん大きくなってきている。万一、浸水が生じたら地下街全体が水没する。地下街の途中に防水扉を設ける案もあるだろうが、いざとなった時、扉が閉まらなかったり、逃げる人がいれば閉められない。

地下室へは二階から

そこで、地下街を区切り、隣の区画に行くには地上階を通りエスカレーターで上下するようにすべきと思う。

地下室の入口を防水扉にする案がある。しかし、浸水は減多に無い。始終開閉する防水扉のパッキンを常時完全に保つのは難しい。

これまで大規模地下街が水没した事例はない。原発事故と同じに「想定外」を考える必要がある。

地下室への通路を「二階から」にすれば良い。一階が浸水しても水は入らない。機械を出し入れするメンテナンス用の入

口は、ボルトナットで締めておけば心配ない。今、地下街がどんどん大きくなってきている。万一、浸水が生じたら地下街全体が水没する。地下街の途中に防水扉を設ける案もあるだろうが、いざとなった時、扉が閉まらなかったり、逃げる人がいれば閉められない。

そこで地下室に置く。地下室の入口を防水扉にする案がある。しかし、浸水は減多に無い。始終開閉する防水扉のパッキンを常時完全に保つのは難しい。

そこで、地下街を区切り、隣の区画に行くには地上階を通りエスカレーターで上下するようにすべきと思う。

地下室の入口を防水扉にする案がある。しかし、浸水は減多に無い。始終開閉する防水扉のパッキンを常時完全に保つのは難しい。

これまで大規模地下街が水没した事例はない。原発事故と同じに「想定外」を考えると

地下室への通路を「二階から」にすれば良い。一階が浸水しても水は入らない。機械を出し入れするメンテナンス用の入

口は、ボルトナットで締めておけば心配ない。今、地下街がどんどん大きくなってきている。万一、浸水が生じたら地下街全体が水没する。地下街の途中に防水扉を設ける案もあるだろうが、いざとなった時、扉が閉まらなかったり、逃げる人がいれば閉められない。

そこで地下室に置く。地下室の入口を防水扉にする案がある。しかし、浸水は減多に無い。始終開閉する防水扉のパッキンを常時完全に保つのは難しい。

そこで、地下街を区切り、隣の区画に行くには地上階を通りエスカレーターで上下するようにすべきと思う。

地下室の入口を防水扉にする案がある。しかし、浸水は減多に無い。始終開閉する防水扉のパッキンを常時完全に保つのは難しい。

これまで大規模地下街が水没した事例はない。原発事故と同じに「想定外」を考えると

地下室への通路を「二階から」にすれば良い。一階が浸水しても水は入らない。機械を出し入れするメンテナンス用の入

口は、ボルトナットで締めておけば心配ない。今、地下街がどんどん大きくなってきている。万一、浸水が生じたら地下街全体が水没する。地下街の途中に防水扉を設ける案もあるだろうが、いざとなった時、扉が閉まらなかったり、逃げる人がいれば閉められない。

そこで地下室に置く。地下室の入口を防水扉にする案がある。しかし、浸水は減多に無い。始終開閉する防水扉のパッキンを常時完全に保つのは難しい。

そこで、地下街を区切り、隣の区画に行くには地上階を通りエスカレーターで上下するようにすべきと思う。

平久保半島

沖縄県石垣市



玉取崎から
二〇一九年十月



石垣島は楽器の琵琶のような形。竿の根元の玉取崎から竿、平久保半島を望むと右には太平洋。左には東シナ海。地球が丸く感じられる。

平久保半島は長さ12kmもあるが、その根元の幅は僅か300m。太平洋の波が荒ければ、船を運んで東シナ海側で漁をしたという。

そこで地名は船越。島の沖には珊瑚礁。天然の防波堤で波が静か。

島の北部には牧場や牧草が広がる。目の前の山は「はんな岳」。「岳」とあるが、標高二百m程の山だ。

